

外来腫瘍化学療法診療料 1 に係る対応について

- 専任の医師、看護師または薬剤師を院内に常時 1 人以上配置し、本診療料を算定している患者さんから電話等による緊急の相談等に 24 時間対応できる連絡体制が整備されています。
- 急変時等の緊急時に入院できる体制が確保されています。
- 実施される化学療法のレジメン（治療内容）の妥当性を評価し、承認する委員会を開催しています。
- 患者さんとその患者さんを雇用する事業者が共同して作成した勤務情報を記載した文書の提出があった場合、就労と療養の両立に必要な情報を提供することができます。また、診療情報を提供した後の勤務環境の変化を踏まえ療養上必要な指導を行うことができます。



院内トリアージの実施について

当院の救命救急センターでは、診察の前にトリアージを行っております。

トリアージとは、診察前に専門知識を有した看護師が症状をうかがい、緊急度・重症度を判断し、より早期に治療を要する方から優先して診療する方法です。場合によっては、診療の順序が前後することがありますが、ご理解をお願いします。

【院内トリアージ実施基準】緊急度判定支援システムに基づく5段階の緊急度分類		
区分	再評価時間	患者の状態
レベル1 蘇生	継続看護・ 迅速な診療	生命または四肢を失う恐れがある。積極的な治療が直ちに必要。
レベル2 緊急	15分	潜在的に生命や四肢の機能を失う恐れがあるため、迅速な治療が必要。
レベル3 準緊急	30分	重篤化し救急処置が必要になる潜在的な可能性がある状態。強い不快な症状を伴う場合があり、仕事を行う上で支障がある、または日常生活にも支障がある。
レベル4 低緊急	60分	患者の年齢に関連した症状、苦痛と感じる症状、潜在的に悪化を生じる可能性のある症状で、1～2時間以内の治療開始や再評価が望ましい。
レベル5 非緊急	120分	急性期の症状だが緊急性のないもの、および増悪の有無に関わらず慢性期症状の一部である場合。



ハイリスク妊産婦共同管理を 共同で行っている保険医療機関

当院は、ハイリスク妊産婦共同管理料（Ⅰ）の施設基準の届出を行っております。ハイリスク妊産婦分娩管理を共同で行っている保険医療機関は次のとおりです。

病院名	住所	連絡先
新潟市民病院	新潟市中央区鐘木 463-7	025-281-5151(代)
新潟大学医歯学総合病院	新潟市中央区旭町通 1-754	025-223-6161(代)
長岡中央総合病院	長岡市川崎町 2041	0258-35-3700(代)
立川総合病院	長岡市旭岡 1-24	0258-33-3111(代)
新潟県立中央病院	上越市新南町 205	025-522-7711(代)

ハイリスク妊娠・分娩とは母子の生命や健康に重大な影響を与える要因をもった妊娠・分娩のことを言います。

ハイリスク分娩に係る配置医師 助産師数、1年間の分娩件数

産婦人科医師	10名	(R8.1現在)
助産師	34名	(R8.1現在)
1年間の分娩件数	396件	(R7実績)

コンタクトレンズの装用を目的に 受診される患者さんへ 診療に係る費用のお知らせ

令和7年4月1日より

診療に係る費用は下記のようになりますので、ご了承願います。

- ①
- | | |
|--|--|
| <p>初診料 291 点
(同日に他の医科診療がある場合は144点)</p> <p>または</p> <p>外来診療料 76 点
(同日に他の医科診療がある場合は37点)</p> | <p>* 紹介状をお持ちでない初診患者さんは、
保険外診療料として、別途 7700 円(税込み)
ご負担願います。</p> <p>* 過去にコンタクトレンズ検査料を算定された
患者さんは、外来診療料を算定します。</p> |
|--|--|

- ② **コンタクトレンズ検査料1 200 点**
保険診療に係る費用は ①+② の合計になります。
 * 医療費は1点10円計算となり、患者さんの保険負担割合をご負担いただきます。
 * 公費負担の方はこの限りではありません。

- ③ 「コンタクトレンズの代金」は各業者に直接お支払いただきます。
 * 使い捨てコンタクトレンズは取り扱っておりません。
 * 価格の詳細は診察時に視能訓練士にご相談ください。

なお、コンタクトレンズの診療を行っている担当医師は以下のとおりです。

	月	火	水	木	金
初診	宮島	田中	齋藤	宮島/齋藤	岡村
	齋藤	宮島	田中	田中	田中
再診	岡村	齋藤	宮島	宮島	宮島
		岡村	岡村	岡村	齋藤

眼科診療経験			眼科診療経験		
田中 玲子	30年		宮島 誠	7年	
齋藤 彩子	4年		岡村 夏奈子	3年	

(令和7年4月1日現在)

ご不明な点がある方は、眼科外来にお問い合わせください。

病院長
眼科部長

一般名処方について

当院では、後発医薬品のある医薬品について、特定の医薬品名を指定するのではなく、薬剤の成分をもとにした“一般名処方”（薬の「商品名」ではなく、「有効成分」を処方箋に記載すること）を行う場合があります。

一般名処方処方箋を発行することによって、特定の医薬品が不足した場合であっても、患者さんに必要な医薬品が提供しやすくなります。

～院外処方箋における一般名処方の表記～

【般】と表記されているお薬が一般名処方です。



このお薬は保険（調剤）薬局にて「先発医薬品」か「後発医薬品（ジェネリック薬）」を患者さんが選択できます。

ご不明な点がございましたら、薬剤部へお問い合わせください。

また、令和6年10月より長期収載品（後発医薬品のある先発医薬品）を医療上の必要性なく、患者さんの希望で処方した場合は、選定療養費（健康保険対象外の特別な料金）が別途かかります。

※ 医療上の必要性がある場合や在庫状況等で後発医薬品の提供が困難な場合は、健康保険の対象となります。



手術件数について

年間実施件数の掲示が定められている手術は、下記のとおりです。
(令和7年1月～令和7年12月)

1. 区分1に分類される手術

ア	頭蓋内腫瘍摘出術等	43件
イ	黄斑下手術等	185件
ウ	鼓室形成手術等	20件
エ	肺悪性腫瘍手術等	112件
オ	経皮的カテーテル心筋焼灼術, 肺静脈隔離術	0件

2. 区分2に分類される手術

ア	靭帯断裂形成手術等	5件
イ	水頭症手術等	63件
ウ	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	18件
エ	尿道形成手術等	16件
オ	角膜移植術	0件
カ	肝切除術等	58件
キ	子宮附属器悪性腫瘍手術等	25件

3. 区分3に分類される手術

ア	上顎骨形成術等	5件
イ	上顎骨悪性腫瘍手術等	0件
ウ	バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	5件
エ	母指化手術等	0件
オ	内反足手術等	0件
カ	食道切除再建術等	2件
キ	同種死体腎移植術等	0件

4. 区分4に分類される手術

胸腔鏡下及び腹腔鏡下手術	524件
--------------	------

5. その他の区分に分類される手術

ア	人工関節置換術	116件
イ	乳児外科施設基準対象手術	0件
ウ	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	50件
エ	冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないものを含む)及び体外循環を要する手術	50件
オ	経皮的冠動脈ステント留置術(急性心筋梗塞に対するもの)	39件
	経皮的冠動脈ステント留置術(不安定狭心症に対するもの)	28件
	経皮的冠動脈ステント留置術(その他のもの)	67件
	経皮的冠動脈粥腫切除術	0件
	経皮的冠動脈形成術(急性心筋梗塞に対するもの)	8件
	経皮的冠動脈形成術(不安定狭心症に対するもの)	4件
	経皮的冠動脈形成術(その他のもの)	26件
	大腿骨近位部の骨折に対して骨折後48時間以内に整復固定	87件